

福島に通い続けた医師

山崎知行 仙台講演会

チェルノブイリ・福島原発事故を 通してこれからを考える

終わりの見えない東京電力福島第一原発事故。福島に通い続けたお医者さんが見たこと、聞いたことを通して子どもたちの未来をご一緒に考えましょう。



2023年

11/11(土)

13:30~15:30 開場13時

会 場：東北教区センター「エマオ」3F ホール（仙台市青葉区錦町1丁目13-6）

主 催：日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ

お問い合わせ：022-796-5272（平日10~16時）、または、izumi@tohoku.uccj.jp

参加費無料
予約不要

講師プロフィール 医師 山崎 知行(やまざき ともゆき)さん

1984年和歌山県岩出市に上岩出診療所(内科・皮膚科・小児科)開業。1986年のチェルノブイリ原発事故以降、医師の立場から放射線被ばく被害に注目、被災地を何度も訪問。現地住民や医師との出会いを重ね、学びを続けている。日本キリスト教団愛隣教会会員。大阪教区核問題特別委員会委員。

2011年の福島原発事故後、大阪教区による派遣支援を受け、福島県や宮城県を定期的に訪問。予防原則を重視し、放射能汚染による被ばく影響や子どもの健康に不安を持つ保護者への健康相談を継続している。

以下、クリスチャン新聞 2019年 7月14日号より。

「イエス様は必ず一番弱いところに降りてくださる。クリスチャンはその生き方にならない、その姿勢を大切にしないといけないと思うのです。」



コメント・クロストーク 医師 寺澤 政彦(てらさわ まさひこ)さん



「自分の家族に接するように患者さんに接する」てらさわ小児科を宮城県仙台市内に開業、医院院長。宮城学院女子大学非常勤講師。診療だけでなく、病児・病後保育を担うなど、地域住民に信頼され、子どもたちの健康を支えるために果たしてきた功績は大きい。

2011年3月の福島原発事故以降、小児科医として、放射能問題支援対策室いずみが実施する甲状腺検査活動を献身的に支えるほか、県内外住民の要望に応じて甲状腺検査を行ってきた。



会場 東北教区センター「エマオ」

仙台市青葉区錦町一丁目十三の六 ☎ 022-222-0990

仙台駅・地下鉄南北線勾当台公園駅から徒歩十四分程度。

公共交通機関ご利用をお願いいたします。近隣有料駐車場有り。

託児はございませんが、会場にお子さまスペースがあります。

どうぞご利用ください(和室)。ご来場の際は、換気や消毒等、感染予防対策へのご協力をお願い申し上げます。